

「新しい生活はくるのか」－最終弁論②－

「新しい生活はくる」側の最終弁論

司会 続いて、新しい生活はくると考える側の最終弁論を始めてください。時間は3分です。

これから、新しい生活はくると考える側の最終弁論を始めます。

皆さんは新しい生活というものをどのように考えていますか。事業に成功してお金持ちになると考えている人はいませんか。私たちは、そうは思いません。いくらくじけた日があっても、その日には夜がきて、その次には朝がきます。

その新しい朝、負けずにがんばる次の朝、次の朝はそれぞれ新しい生活だと私たちは思います。新しい生活とは他人が見てわかるものではありません。自分自身がどうなったかが問題なのです。たとえ、周りの人が変わっていないと見ても、自分が変わったのであれば、それがきっと新しい生活なのです。

「わたし」は異郷の地でまた一からスタートし、初めはうまくいかないかもしれませんが、いつかきっと、新しい生活を手に入れるでしょう。ルントウたちも同じです。人生苦あれば楽ありというように、今まで苦しんできた人たちにも必ず幸せは何らかの形で訪れるのです。

しかし、正直にいうと私たちにも本当に新しい生活がくるかどうかはわかりません。なぜなら、その新しい生活というものがどういうものなのか、本人たち自身にしかわからないからです。私たちはただ、新しい生活は必ずくると信じているだけなのです。

でも、ルントウたちはがんばるでしょう。故郷に紺碧の空、金色の月、緑の砂地、そして幼い頃の美しい思い出があるかぎり、必ず新しい生活はやってくるのです。

これで、新しい生活はくると考える側の最終弁論を終わります。ありがとうございました。

司会 ありがとうございました。時間は2分4秒でした。それでは判定表に記入してください。

討論に参加したチームもそれぞれ書いてください。

司会 それでは判定に移ります。新しい生活がくると考える側の方が優れていると思う判定員は手を挙げてください。20名です。新しい生活はこないと考える側の方が優れていると思う判定員は手を挙げてください。12名です。